

著者名：
出版社：

人生劇場

著者名： 桜木 紫乃
出版社： 徳間書店

何もかもが赤く染まった鉄鉾の町、室蘭。四人兄弟の次男に生まれた猛夫は、兄にいじめられ、母には冷たくあしらわれながら日々を過ごしていた。心のよりどころは食堂と旅館を営む伯母のカツ。やがて猛夫はカツのもとで育てられることになる。中学卒業後、理容師を目指し札幌に出た猛夫だが、挫折して室蘭に帰る。常に劣等感を抱えるようになった猛夫は、いつか大きくなって皆を見返してやりたいと思うように。理容師として独立、ラブホテル経営と、届かぬ夢だけを追い続けた男の行く末は。自身の父親をモデルに、直木賞作家・桜木紫乃が北の大地で生きる家族の光と闇を描く。

著者名：
出版社：

嘘と隣人

著者名： 芦沢 央
出版社： 文藝春秋

ストーカー化した元パートナー、マタハラと痴漢冤罪、技能実習制度と人種差別、SNSでの誹謗中傷・脅し……。リタイヤした元刑事の平穏な日常に降りかかる事件の数々。身近な人間の悪意が白日の下に晒された時、捜査権限を失った男・平良正太郎は、事件の向こうに何を見るのか？

裸足でかけてくおかしな妻さん

著者名： 吉川 トリコ
出版社： 新潮社

お嫁さん養成ギブスなんか噛み切ってやるー 私たちの奇妙な生活の行先は。楓はお腹の子の父親である先生と、その妻・野ゆりと暮らし始めるが、先生が姿を消してしまう。二人の同居生活はうまく回りそうにも思えたが、楓には秘密があり、やがて限界が訪れて……。 「こんな生活、いまずぐぶっこわしたほうがいい」「ぶっこわして、それからどうするつもりなの？」しなやかで爽やかなスタートの物語。

ニンジャ 公安外事・倉島警部補

著者名： 今野 敏
出版社： 文藝春秋

公安のエース、倉島警部補の活躍を描く「公安外事・倉島警部補」シリーズ第8弾！ 知られる公安の日常、他部署の公安警察官、あるいは刑事との関係性を知ることができる「ザ・公安小説入門編」にして、チーム倉島の冴えた躍動に鼓動高鳴る短編集。

交番相談員 百目鬼巴

著者名： 長岡 弘樹

出版社： 文藝春秋

交番相談員が見抜く、警察官たちの闇と罪。2025年度再注目の連作ミステリー短編集！ 警察を定年退職し、非常勤の「交番相談員」として働いている百目鬼巴（どうめき・ともえ）見た目は普通のおばさんで、性格も穏やかだが、彼女には妙な噂があった。「彼女には県警本部の刑事部長でも頭があがらない」「現役時代には、未解決事件の捜査にあたってほしい、と熱烈なお呼びが掛かっていた」「なぜか科学捜査の知識も豊富に有している」半信半疑で一緒に働いていた若手警察官は、しかしすぐにその噂が真実であることを知る。彼女は卓越した洞察力で、目の前で起こっていることの真相・裏側をたちどころに見抜いてしまうのだ。

マイ・ディア・キッチン

著者名： 大木 亜希子

出版社： 文藝春秋

元料理人の主婦・白石葉は、夫のモラハラに耐える日々を送っていた。財布のひも、交友関係、食事、体型まで徹底的に管理されてきたが、ある日事件が起きる。家から逃げ出した葉が辿り着いたのは、街のちいさなレストランだった。あなたは、独りじゃないからー人生が愛おしくなる、お料理エンタメ。料理家・今井真実さんのレシピ付き！

大ピンチずかん3

著者名： 鈴木 のりたけ

出版社： 小学館

大ピンチは思いがけない理由でやってくる。『大ピンチずかん3』では世の中のさまざまな大ピンチを、大ピンチレベルの大きさと今回初登場の「うっかりメーター」で表し、レベルの小さいものから順番に紹介する。ついうっかりしたこと大ピンチに陥ったのなら、それはまさに自分のせい。次は大ピンチにならないように考えることができるぞ。また大ピンチ調査や大ピンチを乗り越える方法など、知りたい情報も新たな切り口で掲載。さらに進化した『大ピンチずかん3』。3冊揃えて手元に置いておけば、もう安心だ。

楽しく学んで力がつく！こども世界地図

著者名： 永岡書店編集部

出版社： 永岡書店

豊富な写真とイラストで、世界の地域と国ぐにについての理解が深まる「こども地図帳」。世界を7つの地域に分け、各地域の行政マップと地形マップを掲載。その地域の特色や、自然、歴史などについて解説し、さらに地域ごとの主要な国の特徴的な生活習慣や産業・産物などを紹介。巻末にはすべての国のデータを掲載。切り離して貼れるB2サイズの世界地図ポスター付き。

著者名：
出版社：著者名：
出版社：